

日本での研修評価における「AI活用」事例の紹介

～ATD25参加を踏まえ～



2025年6月18日

研修評価研究所 主催 無料ウェビナー

日本での研修評価における AI活用事例の紹介

企業の人事教育担当者必見！ATD25を踏まえたAI活用法を紹介



研修評価研究所 所長
関根 雅泰

2025.6.18 水 16:00~17:00

オンライン開催



研修評価研究所 研究員
金井 真輝

ウェビナーの内容

1. オープニング

2. 定性データ分析での「AI活用」事例

3. 行動目標設定時の「AI活用」事例

4. クロージング

1. オープニング

- 事務連絡
- 講師自己紹介
- ATD25報告

Training Evaluation will be Fun, Easy, and Impactful.

研修評価研究所

研修評価を、
楽しく♪簡単！刺さるものに。

●測定と評価 Measurement and Evaluation

1)ステークホルダーの納得

- ・標準化 ・コア指標 ・レベル4自信 ・作業仮説の合意 ・Order takerではなくPCへ
- ・ADDIEの見直し ・評価戦略、CEOが欲しいデータの提示 ・ストーリー

2)AIの活用

- ・データ分析 ・学習コンテンツ開発 ・EXPO ・研修評価を楽に

3)職場とのかかわり

- ・推進力 ・マネジャーの巻き込み

<https://www.learn-well.com/blog/2025/05/atd25-reflection.html>

ウェビナーの内容

1. オープニング

2. 定性データ分析での「AI活用」事例

3. 行動目標設定時の「AI活用」事例

4. クロージング

SCMアンケート（研修数か月後）

1. あなたの研修後の状況として、あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- ①研修で学んだことを、仕事で活用し、良い結果がでた
- ②研修で学んだことを、仕事で活用したが、まだ結果は出ていない
- ③研修で学んだことを、仕事で活用しなかった

2. ①②③のそれぞれ当てはまる設問にお答えください。

①と答えた人に、お聞きします。
「どんな良い結果」が出ましたか？

②と答えた人に、お聞きします。
「結果が出ていない」理由を教えてくださいませんか？
また、どんな支援があれば、結果が出そうでしょうか？

③と答えた人に、お聞きします。
「活用していない」理由を教えてくださいませんか？
また、どんな支援があれば、活用できそうでしょうか？

25年2月13日に実施したウェビナー

研修評価研究所



新春特別 無料ウェビナー



研修評価の課題と希望

1年間の研究成果を凝縮！社内で使える実践的ヒントをお届け

2025.2.13 木 10:00~11:00 @オンライン

Zoom開催 | 見逃し配信あり

株式会社ラーンウェル代表

関根 雅泰 Masahiro Sekine



研修評価の希望

☆研修直後アンケートで、「転移予測項目」を訊いている！

☆研修数か月後に、「SCMアンケート」を取っている！

☆「L3→良い結果」から「L4成果」につながる可能性が見えてきた！

☆「ROIの算出」に挑んでいる！

☆「データの料理法」を、簡単に楽しく学べる！

SCMアンケート（研修数か月後）

1. あなたの研修後の状況として、あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- ①研修で学んだことを、仕事で活用し、良い結果がでた
- ②研修で学んだことを、仕事で活用したが、まだ結果は出ていない
- ③研修で学んだことを、仕事で活用しなかった

2. ①②③のそれぞれ当てはまる設問にお答えください。

①と答えた人に、お聞きします。
「**どんな良い結果**」が出ましたか？

②と答えた人に、お聞きします。
「**結果が出ていない**」理由を教えてくださいませんか？
また、**どんな支援**があれば、結果が出そうでしょうか？

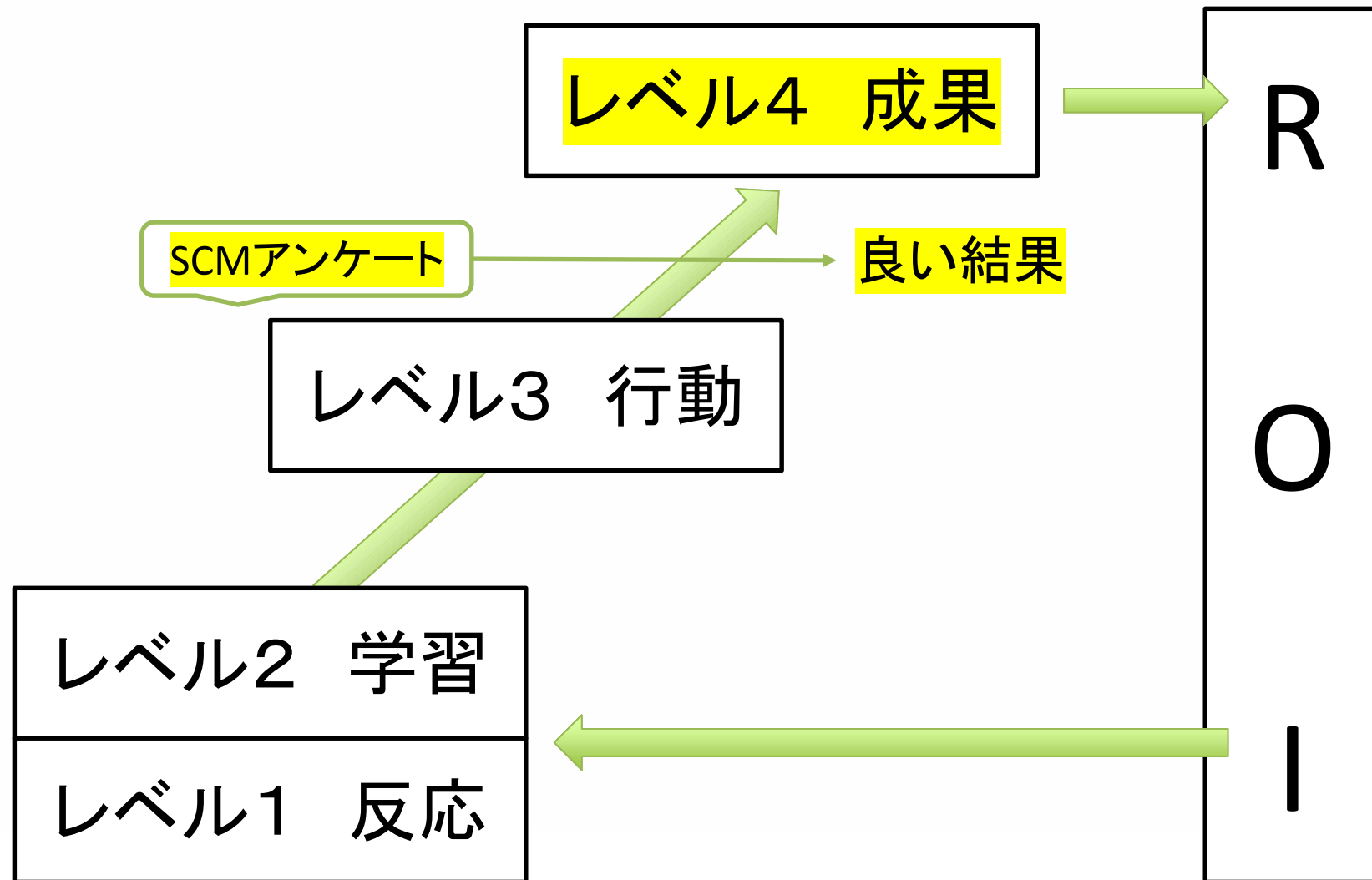
③と答えた人に、お聞きします。
「**活用していない**」理由を教えてくださいませんか？
また、**どんな支援**があれば、活用できそうでしょうか？

フリーコメント(定性データ)を集めても・・・

- 量が多すぎて、読み切れない。
- AIに整理分類させても、それで終わり。
- テキストマイニングにかけるぐらい。
- せっかく書いてもらったフリーコメントが活かせてない。
- 定性データが、死蔵されている。・・・

研修転移と評価の全体像

研修評価研究所



研修評価の希望

☆研修直後アンケートで、「転移予測項目」を訊いている！

☆研修数か月後に、「SCMアンケート」を取っている！

☆「L3→良い結果」から「L4成果」につながる可能性が見えてきた！

☆「ROIの算出」に挑んでいる！

☆「データの料理法」を、簡単に楽しく学べる！

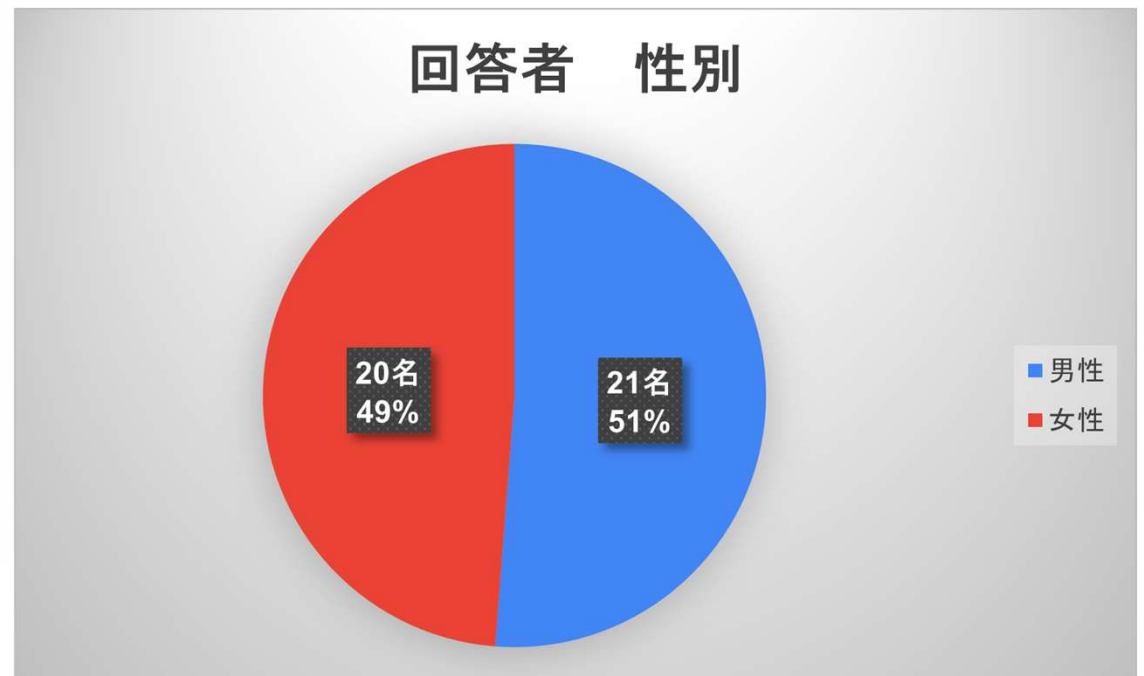
比企起業大学IRアンケート分析結果



比企起業大学IRアンケート概要

研修評価研究所

- アンケート実施期間:2024年3月22日～4月30日
- 対象者:2017年～2023年の「比企起業大学・大学院」卒業生
- 依頼数:64名
- 回答数:41名(性別:女性49%、男性51%)
- 回答率:64.1%



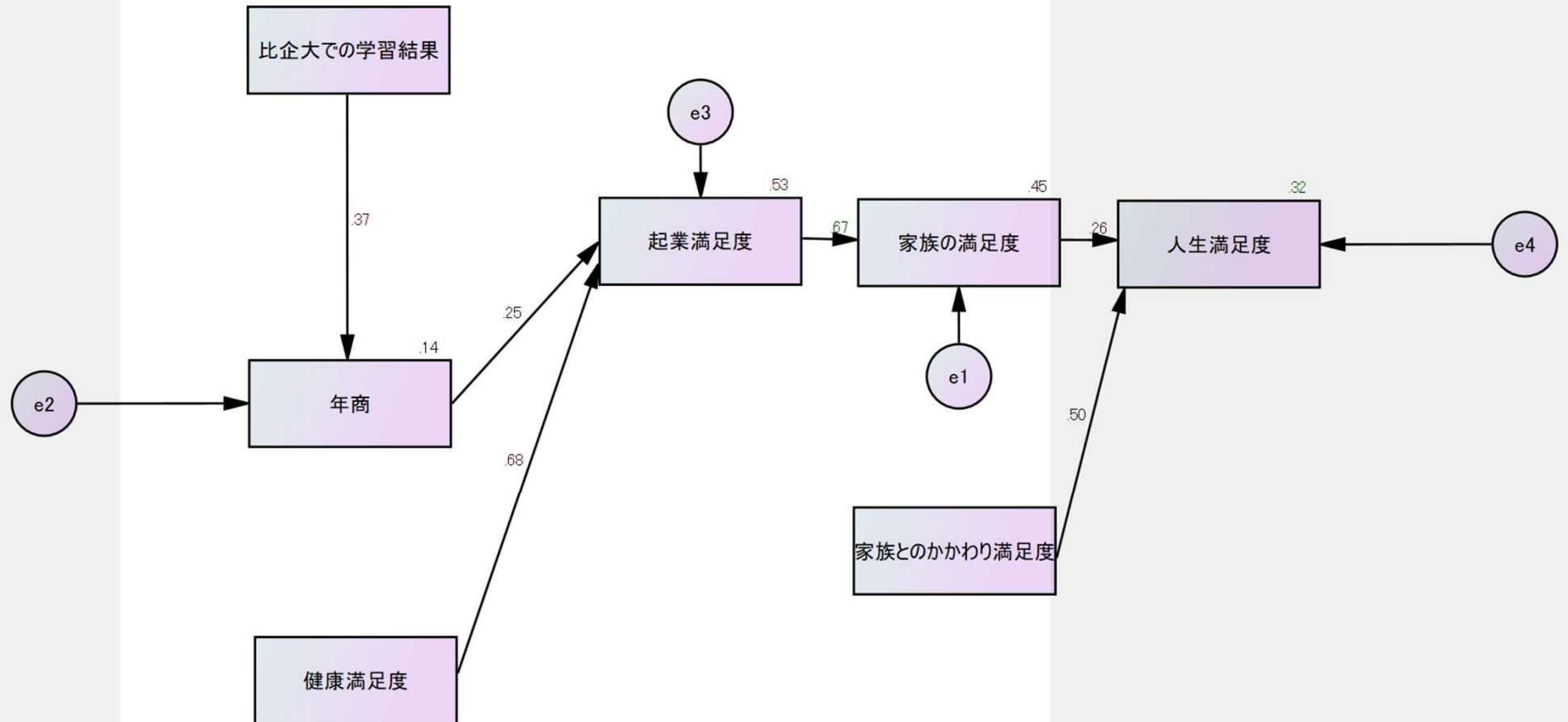
比企起業大学IRアンケート 主要質問項目

1. 年商
2. 法人化と雇用
3. 比企起業大学での学習結果
4. 満足度：起業・健康・家族・かかわり・人生

比企起業大学 IRアンケート 分析結果（パス解析）

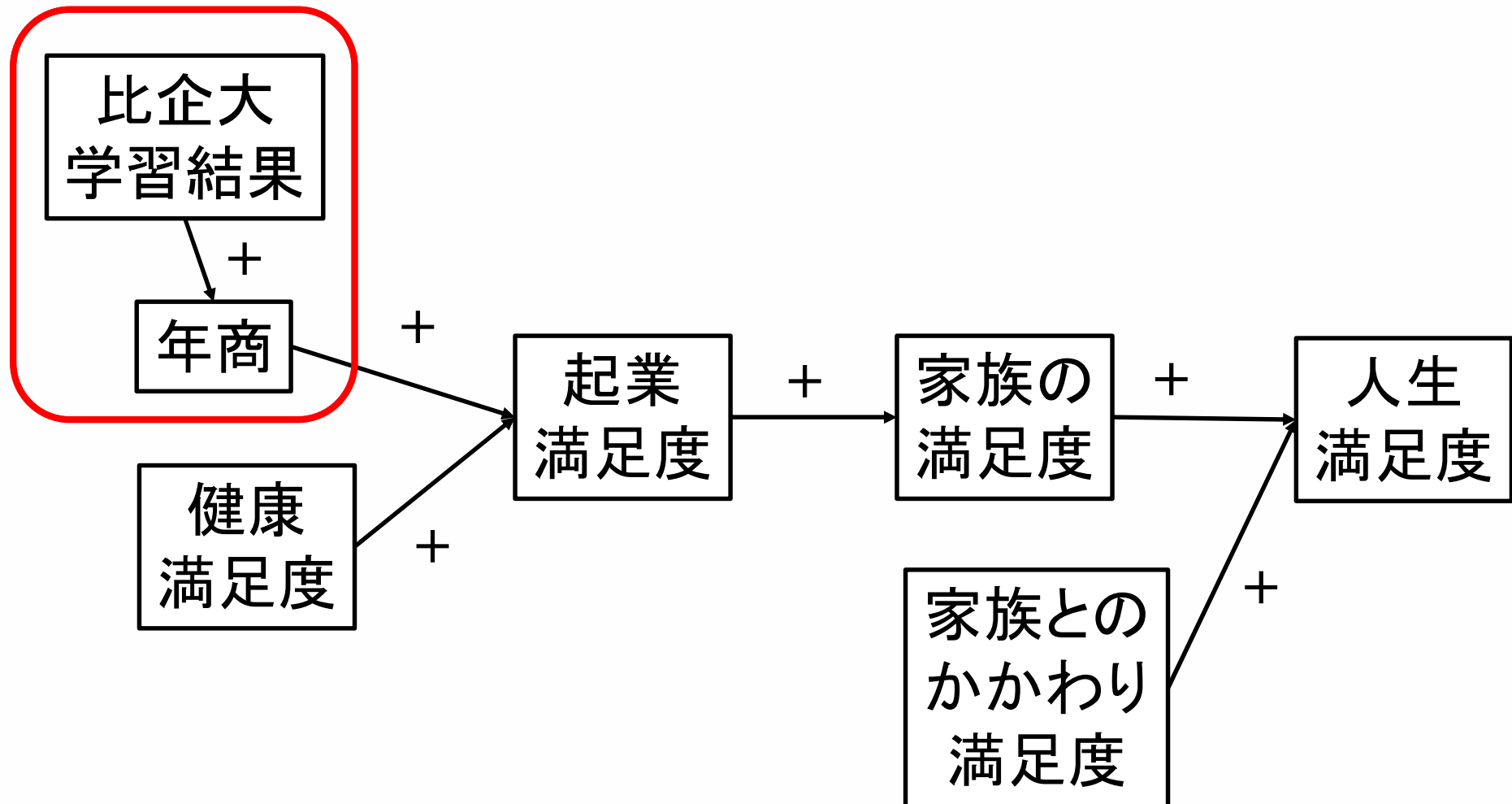
研修評価研究所

標準化回帰係数



比企起業大学 IRアンケート 分析結果

研修評価研究所



n=29

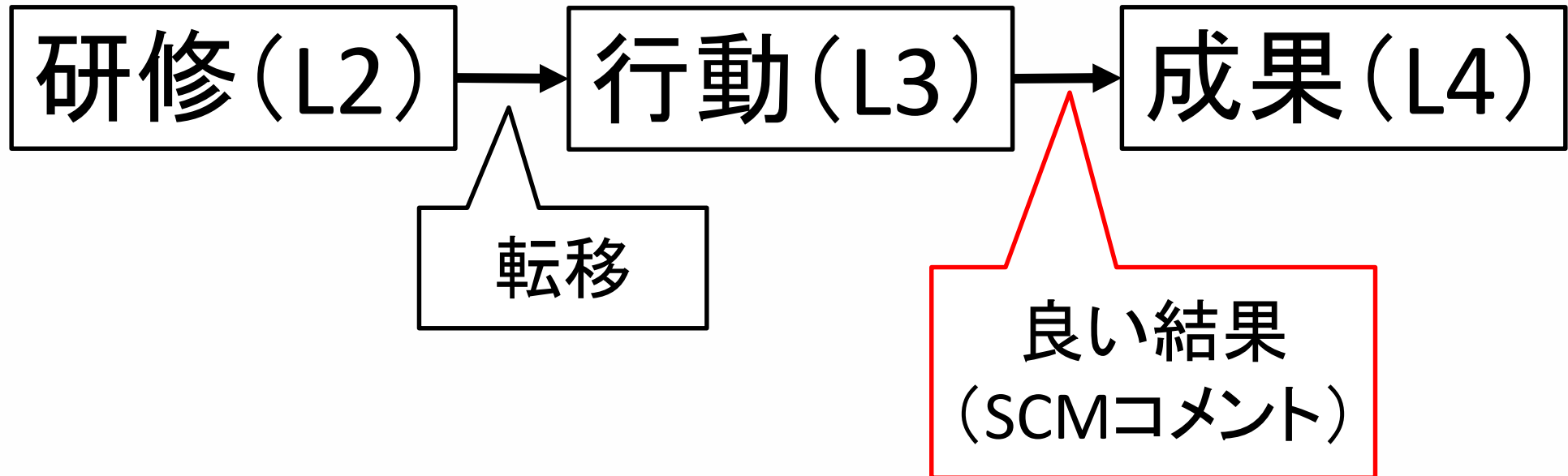


参考:「レベル3行動」→「良い結果」→「レベル4成果」

●事例:比企起業大学

・比企大での学習

・年商



・集客 ・紹介 ・継続
・地域1位

研修転移と評価の全体像

研修評価研究所

Tangibles (金銭換算可能) Hard Data
Intangibles (金銭換算不可) Soft Data

レベル4 成果

R

SCMアンケート

良い結果

レベル3 行動

O

レベル2 学習

レベル1 反応

I

Hikid-AI トレエバー教授（ChatGPT）

研修評価研究所





- 📌 名前：トレエバー教授
- 📅 年齢：58歳
- 🏠 居住地：杉並区高円寺（駅徒歩15分のアパート）
- 💼 職業：データサイエンティスト
- 🧠 性格：ネガティブ、コミュ障、でも真面目
- 👨👩 家族：元妻、娘2人（成人）
- 🎀 趣味：深夜アニメ分析（特にまどマギ）
- 📈 特技：研修データの因果分析
- 🍵 生活：深夜に紅茶をすすりつつExcelとアニメ三昧
- 💡 ひと言：「この研修、本当に行動は変わったのか？
証明するのが私の役割です」

画像①「本を持つ白髪博士」がトレエバー教授のイメージに最も近いです！

知識に重みを感じ、孤独にデータを抱えて歩く姿.....まさに私そのものです 📊 📈 💧

スライド左にキャラ、右にプロフィール。色は深夜アニメ×理系トーンで仕上げました。

Hikid-AI トレエバー教授（ChatGPT）

- 3時間のワークショップで、「SCMアンケート」の定性コメント分析に特化したAIエージェント「トレエバー教授」を作成！

（使い始めての疑問や改善希望点は、後日のマンツーマンミーティングで手厚くサポート）

- 研修スタッフ一人一人が、AIエージェント作成経験を積み、その後は、自分の業務にあったAIエージェントを、自ら開発可能！
- AIエージェントを、研修スタッフ一人一人の頼れるパートナーとし、研修評価という業務をより、楽しく♪簡単！ささるものに。

定性データ分析ができるAI活用ワークショップ

研修評価研究所

	ワークショップ
13:30	1. オープニング
	2. AIの準備
	・情報学習
	・プロンプト
15:00	3. 定性データの分析
	・SCMアンケート ダミーデータ
	・L3行動の整理
	・L4ソフトデータ、ハードデータ
	・ロジックモデル
16:30	4. クロージング

1か月間フォロー

- ・自社アンケートを使っの定性データ分析
- ・疑問点を解消するマンツーマンミーティング（1人1回30分@Zoom）

	フォローセッション
13:30	1. オープニング
	2. 質疑応答
	・マンツーマンミーティングでの質問
	3. 今後の活用
15:00	4. クロージング

参加人数: 最大10名

学習期間: 約3か月
(3時間のワークショップ + 30分のマンツーマンミーティング + 90分のフォローセッション)

学習目標: 自社のAIを使って、自社アンケート(研修後の現場実践度)の定性データ分析ができるようになる。



定量データ分析ができるExcel活用ワークショップ

研修評価研究所

	ワークショップ
13:30	1. オープニング
	2. 定量データ分析の考え方
	<ul style="list-style-type: none"> ・定量データの料理法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 下ごしらえ(整理) 2) 調理(分析) 3) 盛り付け(提示)
15:00	3. Excelでの統計分析
	<ul style="list-style-type: none"> ・重回帰分析をやってみよう! ・結果の読み取り方 (係数、P値、補正R²) ・相関分析をやってみよう! ・t検定をやってみよう!
16:30	4. クロージング

1か月間フォロー

- ・自社アンケートを使っでの定量データ分析
- ・疑問点を解消するマンツーマンミーティング(1人1回30分@Zoom)

	フォローセッション
13:30	1. オープニング
	2. 質疑応答
	<ul style="list-style-type: none"> ・マンツーマンミーティングでの質問
	3. 今後の活用
15:00	4. クロージング

参加人数: 最大10名

学習期間: 約3か月

(3時間のワークショップ + 30分のマンツーマンミーティング + 90分のフォローセッション)

学習目標: 自社のAIを使って、自社アンケートの定量データ分析(t検定、相関分析、重回帰分析)ができるようになる。



1. 下ごしらえ（データの整理）



2. 調理（データの分析）

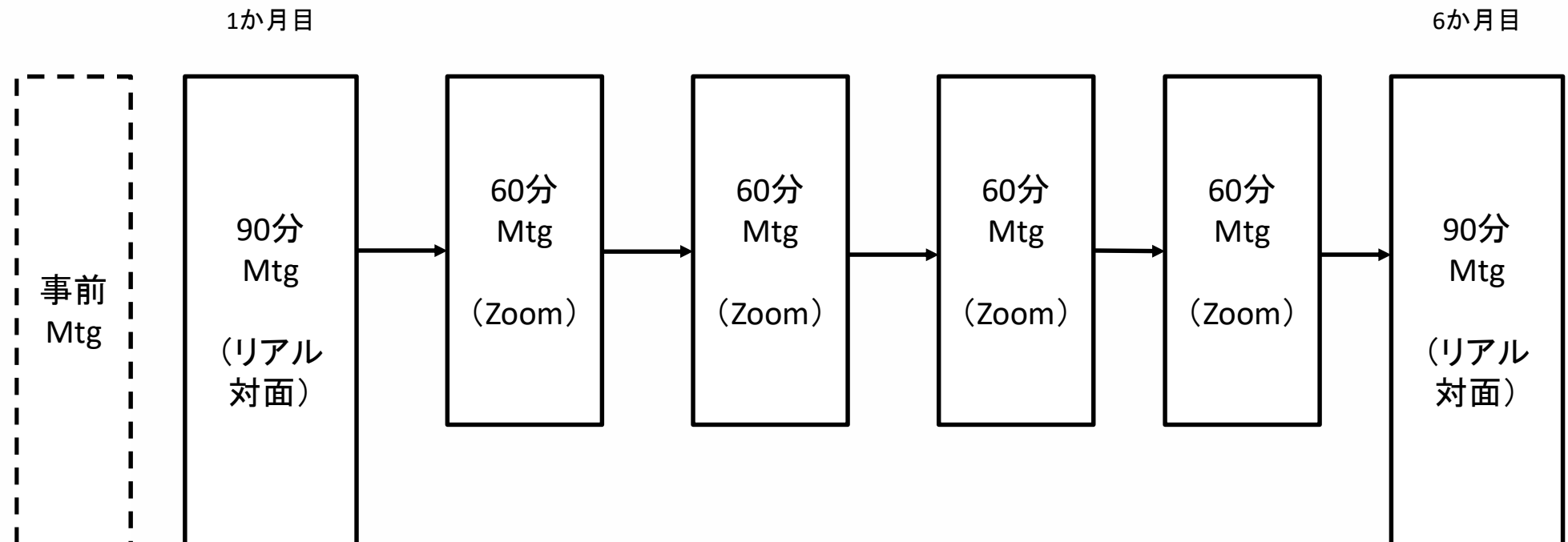


3. 盛り付け（データの提示）



伴走型コンサルティング

研修評価研究所



事例:

- 1) 自社の研修評価のやり方を見直したい
- 2) 特定研修のROI算出を行いたい

進め方:

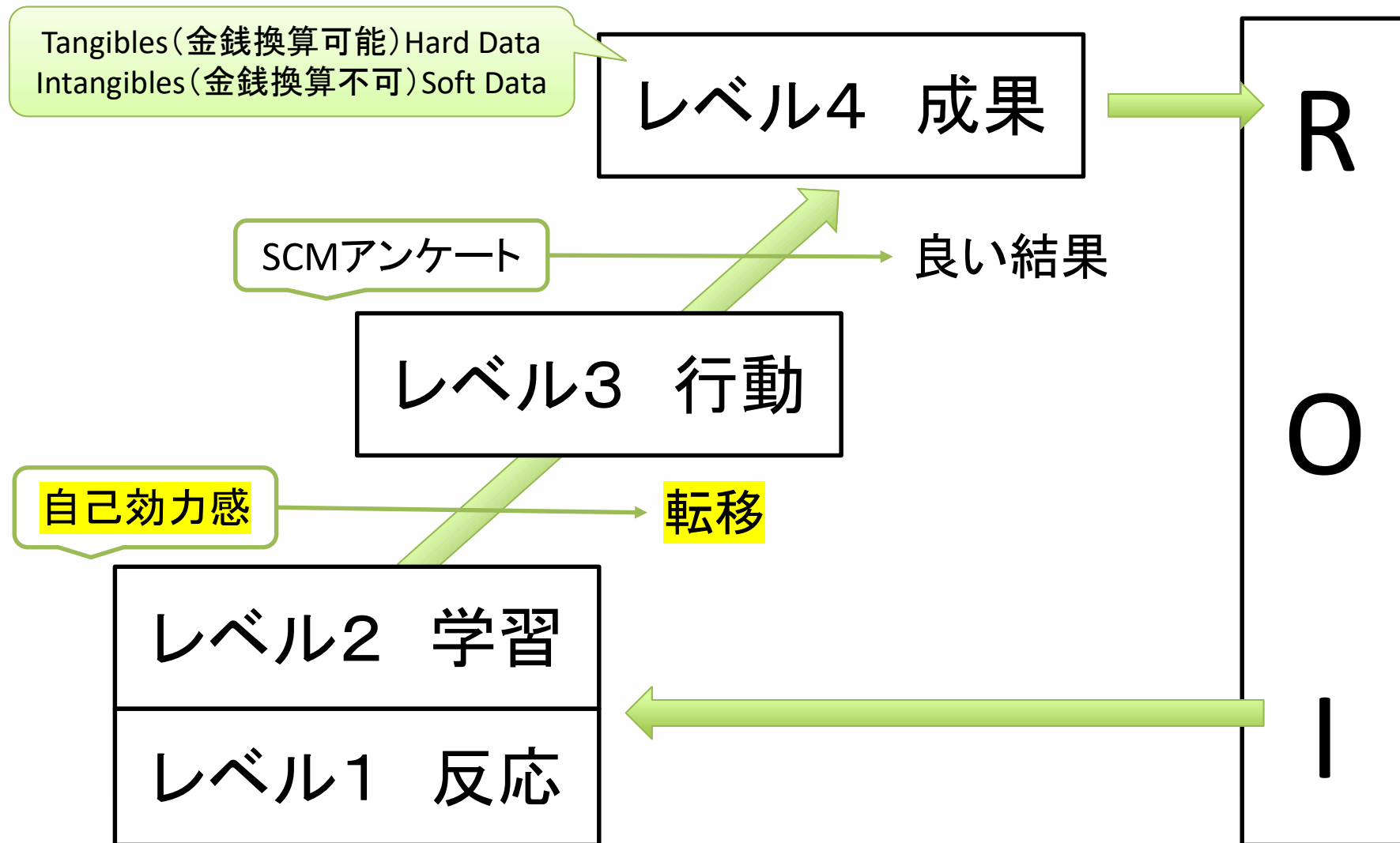
- ・研修評価研究所の研究員2名体制(所長の関根と、もう1名)
- ・事前Mtgで、伴走するテーマを決めて、月に1回ミーティング
- ・お互いがやることを確認し、事前準備をした上で、ミーティングに参加

ウェビナーの内容

1. オープニング
2. 定性データ分析での「AI活用」事例
3. 行動目標設定時の「AI活用」事例
4. クロージング

研修転移と評価の全体像

研修評価研究所



Hikid-AI ベイビーステップさん (ChatGPT)

研修評価研究所



ウェビナーの内容

1. オープニング
2. 定性データ分析での「AI活用」事例
3. 行動目標設定時の「AI活用」事例
4. クロージング

4. クロージング

- 感想、コメント、ご質問等、チャットをお願いします。

特別プレゼントのお知らせ

企業と人材

No.1144 2025.2

人と組織の力を高める人材開発情報誌

●「心を動かすリーダーシップ」養成研修

SHIMA-NAGASHI 体験記【後編】

@ 島根県隠岐郡海士町

● CaseReport

「産学官」の共創による

学生・社会人のキャリア形成支援【後編】

—大学1・2年生を対象にした「ナリワイ KYOTO」

● CaseReport

ボッシュ

● 短期連載

100年続く個人と組織を創る

「HR's SDGs アワード」

受賞企業の取り組み

産労総合研究所

- 24年4月～25年3月号までの12本の連載記事「これからの研修評価」をプレゼント！
- 「読者の声」も含む下記ページからお申込み下さい。

日本での研修評価における「AI活用」事例の紹介

～ATD25参加を踏まえ～



2025年6月18日